

競技注意事項

1. 2019年 日本陸上競技連盟の規則により競技を行う。

2. 招集について

○ 全て現地招集とする。

	招集開始	招集完了
トラック競技	20分前	10分前
フィールド競技	40分前	30分前

○ 招集に遅れた者は、出場を認めない。

3. トラック種目とフィールド種目を兼ねる者は、トラック種目を優先とする。但し、その場合は必ずフィールド審判員に申し出て許可を受けること。

4. 男女走幅跳と男女砲丸投においては予選ラウンドを行い、その上位12名で決勝ラウンドを行う。
(ただし、参加者が24名を超えない場合は予選ラウンドを行わず、決勝ラウンドのみとする。)

○ 予選通過記録を以下のように設定し、記録突破者は決勝ラウンドに進出できるものとする。

	男子	女子
走幅跳	6m55	5m45
砲丸投	13m00	12m50

○ 予選通過記録突破者が12名に満たない場合は、予選成績順に追加補充する。

○ 決勝ラウンドは3回の試技の後、上位8名による3回の試技を行う。

5. 跳躍競技のバーの上げ方

	練習			開始				
<男子走高跳>	1.50	1.65	1.80	1.55	1.60	1.65	1.70	以後3cm
<女子走高跳>	1.35	1.45	1.55	1.40	1.45			以後3cm
<男子棒高跳>	3.00	3.50	4.00	3.00	3.20	3.40	3.60 3.80	以後10cm

練習の高さは状況に応じて審判長が判断する

1位決定のためのバーの上下

<走高跳>	2cm	<棒高跳>	5cm
-------	-----	-------	-----

6. フィールド計測ライン

	男子	女子
走幅跳	5m50	4m40
砲丸投	10m00	9m50

7. スパイクのピンは、全天候性走路のため9mm以下(走高跳は12mm以下)のピンを使用のこと。

8. 競技会での傷害は、応急処置のみで、以後の責任はもたない。

9. 補助競技場の使用については、次のことを厳守すること。

- ジョッグ及びウォーキングは、フィールド内の芝生を使用し、走路を使用しない。
- 内側の1レーンは、長距離のペース走専用とする。
- 内側の2～3レーンは、流し等の専用とする。
- 直走路4～7レーンはスタートダッシュ専用とする
- 外側の8レーンはハードル専用とする。
- 跳躍種目の練習は競技ピットで行う。
- 投てき種目の練習は禁止する。
- 走路及びピットに立ち止まるとの指導等をしてはいけない。
- 走路は左回りとし、逆走は禁止する。
- 走路を横切るときは、下記指定場所より選手の妨害にならないように気をつけ、速やかに渡る。
- その他審判員の指示に従う。

10. その他

- 競技場及びベンチとして使用したところは汚さないように気をつける。
- 競技場、競技場周辺の住民にも、迷惑をかけないようにゴミ等は、各自家まで持ち帰ること。
- 持ち物の管理は各自で責任を持つ。
- 競技場周辺及び補助競技場における投てき練習は禁止する。
- 全国大会への申し込みは本日中に済ませること。